

管内の百名山 「安達太良山」



大玉村から安達太良山を望む



遊歩道を活用しての森林教室

福島森林管理署では、安達太良山周辺の国有林約1,500㏊を自然休養林に指定し、スキー場の設置や遊歩道の整備等を行い、積極的に森林空間利用に供しています。保護管理についても、地元二本松市を中心とした各種団体が設立している安達太良自然休養林保護管理協議会と連携し、各種の取り組みを展開して自然豊かな安達太良自然休養林を維持管理し、国有林のPRに努めています。

また、平成22年4月に設定が予定された「日光・吾妻山地緑の回廊」に含まれ、生物多様性に配慮した森林施業を進めていくこととしています。

(福島森林管理署 広報広聴連絡官)

福島県の名峰「安達太良山」は、磐梯朝日国立公園の南端に位置し、日本に108ある活火山の一つで、那須火山帯に属しています。1900年に噴火し、以後その痕跡を残す火口付近は痛々しくも火口景観として登山者を魅了しています。

安達太良連峰は、南から和尚山、安達太良山、船明神山、鉄山、箕輪山、鬼面山が連なる約9kmにわたる連峰です。標高1,700㍍で森林限界に達し、その上部は植生が乏しい為、福島県西側の会津地方裏磐梯から東の中通の眺望が楽しめ、加えてそれぞれの特徴ある山々を縦走出来ることも魅力の一つです。山頂までのアクセスは、安達太良スキー場のゴンドラで1,300㍍まで登り、400㍍を徒歩で登るコースがあり、初心者でも比較的登りやすい山です。

日本百名山の一つとしてその名が知られていますが、うつくしま百名山・花の百名山にも選ばれ、吾妻シャクナゲ、サラサドウダン・レンゲツツジ、オノエラン等が咲き誇り、多くの高山植物を見ることができます。また、平成20年に補修整備された、安達太良遊歩道(約2km)の周辺もまた、安達太良山の景観美の一つとして、訪れる観光客の心と体を癒やしてくれます。



咲き誇る吾妻シャクナゲ・オノエラン